

[0421/3B-070-001]

Ver.19

3.生化学的検査 >> 3B.酵素および関連物質>>3B070 アルカリフォスファターゼ(ALP)

アルカリフォスファターゼ(ALP)

alkaline phosphatase

連絡先 平日時間内：3487

時間外・休日：3479・PHS 2908

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

0421	001	ALP
0421	004	ALP
0421	005	ALP[臍帯血]

検査予約

至急オーダー

可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検査前に高脂肪食は避けることが望ましい。

検体採取のタイミング

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダ イテスト	
注 80 外	
<input type="checkbox"/>	急
ホ 1.	
血液	*_*_*_*_*_-15002
中検	**_*_*_*_*_-**
C5	5ml

キョウダ イテスト	
注 80 外	
<input type="checkbox"/>	急
ホ 1.	
血液	*_*_*_*_*_-78004
中検	**_*_*_*_*_-**
L3	3ml

キョウダ イテスト	
注 80 外	
<input type="checkbox"/>	急
ホ 1.	
臍帯血	*_*_*_*_*_-15002
中検	**_*_*_*_*_-**
C3	5ml

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

[0421/3B-070-001]

Ver.19

3.生化学的検査 >> 3B.酵素および関連物質>>3B070 アルカリフォスファターゼ(ALP)

アルカリフォスファターゼ(ALP)

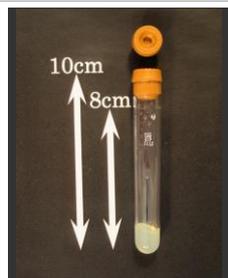
alkaline phosphatase

連絡先 平日時間内：3487

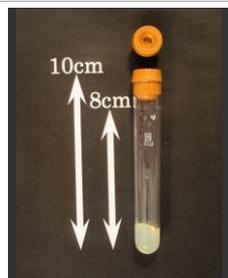
時間外・休日：3479・PHS 2908

採取容器・検査材料

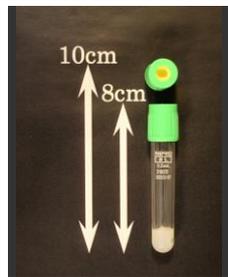
01	C5	高速凝固促進剤 + 血清分離剤(オレンジ)
採取材料	血液	採取量 5 mL
遠心分離		遠心
測定材料	血清	測定必要量



02	C5	高速凝固促進剤 + 血清分離剤(オレンジ)
採取材料	臍帯血	採取量 5 mL
遠心分離		遠心
測定材料	臍帯血上清	測定必要量



03	L3	ヘパリンリチウム + 血漿分離剤(緑)
採取材料	血液	採取量 3 mL
遠心分離		遠心
測定材料	血漿	測定必要量



採取容器について

平日時間内はC5採血管, 時間外・休日および緊急検査はL3採血管を使用して下さい。

検体採取について

採取後検体の取扱い

室温保存

検体搬送について

全血での長時間放置は禁

採取検体の保存条件

	保存検体種	優先保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	血清	保存条件2	冷蔵	1月	凍結	6月		

[0421/3B-070-001]

Ver.19

3.生化学的検査 >> 3B.酵素および関連物質>>3B070 アルカリフォスファターゼ(ALP)

アルカリフォスファターゼ(ALP)

alkaline phosphatase

連絡先 平日時間内：3487

時間外・休日：3479・PHS 2908

02	遠心後の臍帯血上	保存条件2	冷蔵	1月	凍結	6月		
03	血漿（ヘパリンLi	保存条件2	冷蔵	1月	凍結	6月		

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
			不可	不可
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

検査に要する時間(生理検査)

再検査・追加検査の対応可能日数

検体採取日から3日間
検体保存環境の都合上、時間外・休日および緊急検査の検体は、検体到着後6時間以内とします

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

冷暗所の血清でも24時間後には5～10%活性が上昇するので、長期保存する場合は凍結保存が必要です。

検査機器 LAbOSPECT 008α（日立ハイテック）

検査所要日数 当日報告

検査部門・委託先

検査部門(平日時間内) 中央診療棟2階 中央検査室

検査部門(時間外・休日) 中央診療棟2階 時間外検査室

検査結果報告について

基準値設定材料・検査方法

基準値設定材料	血液
検査方法	可視吸光光度法 (IFCC対応法)

生物学的基準範囲

	男性	女性	単位
00 アルカリフォスファターゼ(ALP)<a	38 - 113	38 - 113	U/L

[0421/3B-070-001]

Ver.19

3.生化学的検査 >> 3B.酵素および関連物質>>3B070 アルカリフォスファターゼ(ALP)

アルカリフォスファターゼ(ALP)

alkaline phosphatase

連絡先 平日時間内：3487

時間外・休日：3479・PHS 2908

基準値情報

緊急異常値

電話連絡対応

臨床的意義

異常値を示す病態・疾患

参考文献

JLAC10

分析物	3B070	アルカリフォスファターゼ(ALP)
識別	0000	
材料	029	臍帯血
測定法	275	可視吸光光度法 (IFCC対応法)
分析物	3B070	アルカリフォスファターゼ(ALP)
識別	0000	
材料	023	血清
測定法	275	可視吸光光度法 (IFCC対応法)

変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2012/02/01	2012/01/04～	検査機器変更
3	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
4	2017/04/21	2017/03/10～	最低採取量・容器変更([2mL]⇒[3mL])
5	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定

[0421/3B-070-001]

Ver.19

3.生化学的検査 >> 3B.酵素および関連物質>>3B070 アルカリフォスファターゼ(ALP)

アルカリフォスファターゼ(ALP)

alkaline phosphatase

連絡先 平日時間内：3487

時間外・休日：3479・PHS 2908

6	2019/02/07	2018/12/14～	緊急検査室の機器更新 (LABOSPECT 008 α) に合わせて内容を見直し
7	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
8	2020/07/20	2020/08/01～	検査方法・基準値・電話連絡対応基準変更
9	2021/06/04	2020/12/23～	IFCC・JSCCの併記報告を中止
10	2022/03/01	2021/12/01～	項目コード統合(血液/臍帯血)
11	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字
12	2022/03/19	2021/12/27～	採取容器変更
13	2022/04/06	2021/06/25～	検査室名称を変更
14	2022/04/07	2022/01/04～	検査機器変更
15	2022/07/08	2022/01/01～	電話連絡対応基準変更
16	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
17	2022/10/21	2022/03/28～	24時間測定可能項目として改訂, 項目コード統合 ([0421] ← [0421・9138])
18	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
19	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定